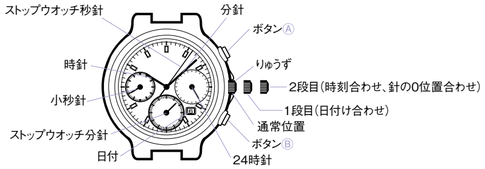
■特長

この時計は、基本時計とストップウオッチ機能を備えたアナログ時計です。

●基本時計は、24時・時・分・小秒針で表示します。
●ストップウオッチは、専用の２本の針（秒・分）で表示します。1/5秒単位で60分計です。
　スプリット計測が可能です。12時間経過で自動的にストップします。

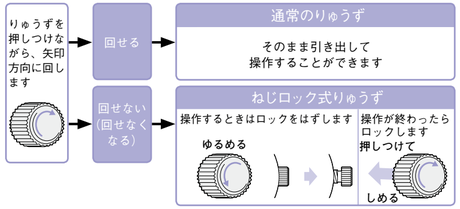
■各部の名称とはたらき



※りゅうずにははじロック構造を持っているものもあります。
（→「■ねじロックりゅうずのモデルの場合」を参照）
※以降の説明では、説明に不要な部分の針を省略することがあります。

■りゅうずについて

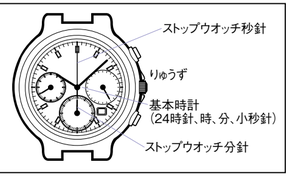
りゅうずには、通常のものとロックできる構造のものの、2つのタイプがあります。
お使いの時計のりゅうずをご確認ください。



※ ねじロック式りゅうずは、ロックすることで、誤動作の防止と防水性の向上をはかることができます。
※ ねじロック式りゅうずは、ねじを無理にしめるとねじ部をこわすおそれがありますので、ご注意ください。

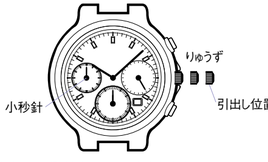
■時刻合わせ・ストップウオッチ針の０位置合わせ（基本時計・ストップウオッチ針）

この時計は時刻合わせ（基本時計）とストップウオッチ針の０位置合わせは、共にりゅうず引き出し位置で行ないます。
そのため、時刻合わせ等でりゅうずを引き出した際は、下記の２つの項目を確認または合わせ直してから、りゅうずを押し込んでください。
・基本時計の時刻
・ストップウオッチ針の０位置



●時刻の合わせかた（基本時計）

①りゅうずを引き出します。小秒針が止まります。小秒針は12時の位置に止めてください。



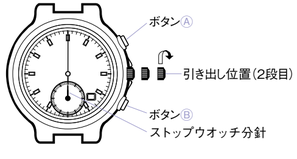
※ストップウオッチ計測中の場合は、ストップウオッチが強制的にリセットされます。

②りゅうずを回して、「基本時計」の時刻を合わせます。

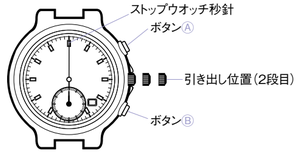
この時合わせる時刻は、今から数分後の時刻に合わせることをお勧めします。
その理由は、この後「ストップウオッチ針の０位置合わせ」を行なうためです。
すべての合わせが終わってから、りゅうずを押し込むことになるので、数分先の時刻に合わせておく必要があります。

※24時針の位置を見て、午前または午後を間違えないように合わせてください。
※この時、正確に合わせるために分針を正しい時刻より４～５分進めてから針を戻して合わせてください。

③ボタンⒶを約２秒押し続けてください。ストップウオッチ分針が１周回ります。
　ボタンⒷを押して、ストップウオッチ分針を「０分」に合わせてください。ボタンⒷを押し続けると、早送りします。



④ボタンⒶを約２秒押し続けると、ストップウオッチ秒針が１周回ります。
　ボタンⒷを押して、ストップウオッチ秒針を「０秒位置」に合わせてください。
　ボタンⒷを押し続けると、早送りします。



⑤すべての合わせができたら、時報と同時にりゅうずを押し込みます。
※時刻合わせは、電話の時報サービスTEL.117が便利です。
針の０位置合わせを続けて行なう場合はりゅうずを押し込んでから操作①から行なってください。

■日付の合わせかた

・時刻合わせができてから、日付を合わせてください。
・１ヶ月が31日でない＝小の月（２，４，６，９，11月）の翌月のはじめに、日付を合わせ直すときに行ないます。

①りゅうずを１段目まで、引き出してください。

②りゅうずを右に回して、日付を合わせてください。
※午後９時から午前１時までは日付を合わせないでください。この時間帯に合わせると、翌日になっても日付が変わらないことがあるので、この時間帯外で日付を合わせてください。
③合わせ終わったら、りゅうずを押し込んでください。

■ストップウオッチの使いかた

・１/5秒単位・60分計のストップウオッチです。12時間作動後、自動的にストップします。
・センターのストップウオッチ秒針と、６時位置のストップウオッチ分針で読み取ります。
・スプリット機能があります。
　<ストップウオッチの読みかた>
　２本のストップウオッチ針（ストップウオッチ秒・分針）で計測時間を読み取ります。

＜ストップウオッチ針の０位置について＞
・ストップウオッチをリセットしても、ストップウオッチ針が０位置に戻らない場合、０位置合わせが必要です。
・ストップウオッチ針の０位置合わせは、基本時計の時刻合わせと同時に行ないます。
（→「■時刻合わせ・ストップウオッチ針の０位置合わせ」を参照）

● ストップウオッチのリセット方法

・ストップウオッチ針が動いている場合、
　①ボタンⒶでストップ
　②ボタンⒷでリセット
・ストップウオッチ針が止まっている場合、以下の３つの場合があります。
【ストップ状態で止まっている】
　①ボタンⒷでリセット
【スプリット表示でストップウオッチが計測中】
　①ボタンⒷでストップウオッチ針が早送りし、その後計測状態になる。
　②ボタンⒶでストップ
　③ボタンⒷでリセット
【スプリット表示でストップ状態】
　①ボタンⒷでストップウオッチ針が早送りし、その後止まる。
　②ボタンⒷでリセット

●通常の使用方法

ボタンⒶスタート → ボタンⒶストップ → ボタンⒷリセット

●時間計測を積算で行なう場合

ボタンⒶスタート → ボタンⒶストップ → ボタンⒶ再スタート → … → ボタンⒶストップ → ボタンⒷリセット
（ボタンⒶストップ →）何回でも繰返すことができます。

●途中経過（スプリットタイム）を計測する場合

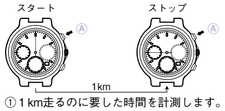
ボタンⒶスタート → ボタンⒷスプリット → ボタンⒷスプリット解除 → ボタンⒶストップ → ボタンⒷリセット
（ボタンⒷスプリット →）何回でも繰返すことができます。

●２人のタイムを計測する場合

ボタンⒶスタート → ボタンⒷ１人目がゴール 1人目のタイム → ボタンⒶ２人目がゴール → ボタンⒷ２人目のタイム → ボタンⒷリセット

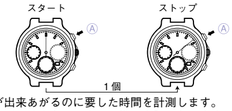
＝タキメーター（TACHYMETER）がついている場合＝
●単位時間あたりの時速や出来高などが簡単に測定できます。

時速を測定する場合



①１km走るのに要した時間を計測します。
②秒針が指しているタキメーターの数字を読みとります。
80km/時

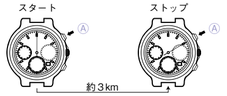
１時間あたりの出来高を求める場合



①製品１個が出来あがるのに要した時間を計測します。
②秒針が指しているタキメーターの数字を読みとります。
400個/１時間あたり

＝テレメーター（Telemeter）がついている場合＝
●音の発生場所までの、目安の距離を算出する事が出来ます。
〈テレメーターとは〉
・「いなびかり」を見てから、その「雷鳴」が聞こえるまでの時間を測定することで、雷の発生場所からの距離を推測することができます。
・光（いなびかり）は、ほぼ瞬時に届き、音（雷鳴）は約0.33km/秒の速さで聞こえることを利用して、発生場所からの距離を算出します。
・１kmを３秒かかるとして、目盛りを用意してあります。

⚠ 注意
あくまでも目安の距離を算出するもので、雷からの危険を避けるための行動判断には、使用できません。
また、音の速度は伝わる空間の温度によって変わります。



●計測方法
①ストップウオッチをリセットしておき、「いなびかり」を見たと同時にストップウオッチをスタートさせます。（ボタンⒶ）
②その雷鳴が聞こえたら、ストップウオッチをストップさせます。（ボタンⒶ）このとき、ストップウオッチの秒針が示す値を読み取ると、距離が読み取れます。

⚠ 注意
ストップウオッチ秒針は１秒ステップ運針するので、タキメーターやテレメーターのそれぞれの目盛と合わない部分がありますが、目安として近い数値を読みとってください。また、計測は１分以下のみで有効です。

■こんな時には

現　象	考えられる原因	このようにしてください
時計が止まった。	電池の容量がなくなった。	電池交換をお買上げ店にご依頼ください。
小秒針が2秒運針している。	電池寿命切れが近づいた。	
時計が一時的に進む／遅れる。	暑いところ、または、寒いところへ放置した。	常温に戻れば元の精度に戻ります。時刻を合わせ直してください。この時計は気温5℃～35℃で腕につけたときに安定した時間精度が得られるように調整してあります。
	磁気を発生するもののそばに置いた。	磁気を遠ざけると、元の精度に戻ります。時刻を合わせ直してください。元に戻らない場合には、お買い上げ店にご相談ください。
	落としたり強くぶつけたりまたは激しいスポーツをした。強い振動が加えられた。	時刻を合わせ直してください。元に戻らない場合には、お買い上げ店にご相談ください。
ストップウオッチをリセットしてもOに戻らない。	磁気や外部からの衝撃が加えられた。	ストップウオッチ針の0位置合わせをしてください。 →■時刻合わせとストップウオッチ針の0位置合わせ」を参照
ガラスのくもりが消えない。	パッキンの劣化などにより時計内部に水分が入った。	お買い上げ店にご相談ください。
24時針が12時間ずれている。	時刻合わせが12時間ずれている。	12時間、針を進めて時刻および日付けを合わせ直してください。

※その他の現象は、お買い上げ店にご相談ください。

■電池について

(1) 電池寿命
　この時計は新しい正常な電池を組み込んだ場合、その後約５年間作動します。
　ただし、ストップウオッチは１日２時間以内を基準としていますので、それ以上使用した場合は上記の期間に満たないうちに電池寿命が切れる場合があります。
(2) 最初の電池
　お買い上げの時計にあらかじめ組み込まれている電池は、機能・性能をみるためのモニター用です。お買い上げ後上記の期間に満たないうちに電池寿命が切れることがありますのでご了承ください。
(3) 電池寿命切れ予告機能
　秒針が１度に２目盛送るようになると、電池寿命切れが間近であることを示しています。お早めにお買い上げ店で電池交換をご依頼ください。この場合でも時刻は正常です。
(4) 電池交換
・電池交換は、必ずお買い上げ店で「純正電池」とご指定の上、ご用命ください。
・電池寿命切れの電池をそのまま長時間放置しますと、漏液などで故障の原因になりますので、お早めに交換してください。
・電池交換は、保証期間内でも有料となります。
・電池交換等で裏ぶたを開閉しますと当初の防水性能を維持できなくなる場合があります。電池交換の際には、お客様の時計の防水性能にあった防水検査をご依頼ください。特に 10 気圧以上のものは検査が必要です。
(5) 電池交換後のお願い
　電池交換後は、基本時計の時刻合わせとストップウオッチ針の０位置合わせを行なってください。
　→「■時刻合わせ・ストップウオッチ針の０位置合わせ」を参照

⚠ 警告
・お客様は、時計から電池を取り出さないで下さい。
・やむを得ずお客様が時計から電池を取りだした場合は、電池はただちに幼児の手が届かないところに保管してください。
・万一飲み込んだ場合は、身体に害があるためただちに医師とご相談ください。

⚠ 注意
・破裂、発熱、発火などのおそれがありますので、電池を絶対にショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。
・この時計に使用している電池は、充電式ではないので、充電すると液漏れ、破損のおそれがあります。絶対に充電しないでください。
・「常温（5℃～35℃）からはずれた温度」下で長時間放置すると電池が漏液したり、電池寿命が短くなったりすることがあります。

■ルミブライトについて

お買い上げの時計がルミブライトつきの場合
ルミブライトは、太陽光や照明のあかりを短時間（約10分間：500ルクス以上）で吸収して蓄え、暗い中で長時間（約3時間～ 5時間）発光します。光が当たらなくなってから輝度（明るさ）は、時間の経過とともに弱まります。なお、光を蓄える際の光の強さや光の吸収度合いとルミブライトの面積によって、発光する時間や見え方に差が生じます。
※一般的には明るい所から暗い所へ入った場合、人の目はすぐには順応しません。初めはものが見にくいですが、時間の経過と共に見やすくなってきます。（目の暗順応）
※ルミブライトは、放射能などの有害物質をまったく含んでいない環境・人に安全な蓄光（蓄えた光を放出する）塗料です。

＜照度のめやすについて＞

環　境		明るさ（照度）のめやす
太陽光	晴れ	100,000 ルクス
	くもり	10,000 ルクス
屋内（昼間窓際）	晴れ	3,000 ルクス以上
	くもり	1,000 ～ 3,000 ルクス
	雨	1,000 ルクス以下
照明 （白色蛍光灯 40W の下で）	1m	1,000 ルクス
	3m	500 ルクス（通常室内レベル）
	4m	250 ルクス

■製品仕様

1．水晶振動数・・・32,768Hz（Hz ＝１秒間の振動数）
2．精度・・・・・・平均月差± 15 秒
　　（気温５℃～ 35℃において腕につけた場合）
3．作動温度範囲・・－ 10℃～＋ 60℃
4．駆動方式・・・・ステップモーター式：３個
5．表示内容・・・・[時刻機能] 24 時、時、分、小秒針（1 秒ステップ運針）
　　[ストップウオッチ機能]
　　ストップウオッチ秒針（1/5 秒ステップ運針、60 秒／１周）
　　ストップウオッチ分針（１分ステップ運針、60 分／１周）
6．使用電池・・・・小型酸化銀電池　SB － AP：１個
7．電池寿命・・・・約５年
　　ただし、１日にストップウオッチ２時間以内の使用。
8．電子回路・・・・発振、分周、駆動回路（C － MOS － IC）
※上記の製品仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

■使用上のご注意とお手入れについて

●製品取扱上のご注意

⚠ 警告
・次のような場合、ご使用を中止してください
　○時計本体やバンドが腐食などにより鋭利になった場合
　○バンドのピンが飛び出してきた場合
　※ すぐに、お買い上げ店・弊社お客様相談窓口にご連絡ください。
・乳幼児の手の届くところに、時計本体や部品を置かないでください
　部品や電池を乳幼児が飲み込んでしまうおそれがあります。
　万が一飲み込んだ場合は、身体に害があるため、ただちに医師にご相談ください。
・時計から電池を取り出さないでください
　電池の交換には、専門知識・技能が必要ですので、お買い上げ店にご依頼ください。
　電池は充電しないでください。破裂・発熱・液漏れ・破損などのおそれがあります。
・この時計はスキューバダイビングや飽和潜水には絶対に使用しないでください
　スキューバダイビングや飽和潜水用の時計に必要とされる過酷な環境を想定した様々な厳しい検査を行っていません。専用のダイバーズウオッチをご使用ください。

⚠ 注意
・以下の場所での携帯・保管は避けてください
　○揮発性の薬品が発散しているところ（除光液などの化粧品、防虫剤、シンナーなど）
　○5℃～35℃から外れる温度に長期間なるところ　○高湿度なところ
　○磁気や静電気の影響があるところ　○ホコリの多いところ
　○強い振動のあるところ
　※電池式の場合は、電池が切れた状態で長時間放置しないでください。電池が漏液するおそれがあります。
・アレルギーやかぶれを起こした場合
　ただちに時計の使用をやめ、皮膚科など専門医にご相談ください。
・直接蛇口から水をかけることは避けてください
　水道水は非常に水圧が高く、
　日常生活用強化防水の時計でも
　防水不良になるおそれがあります。
・水分のついたまま、りゅうずやボタンを操作しないでください。
　時計内部に水分が入ることがあります。
　※万が一、ガラス内面にくもりや水滴が発生し、長時間消えない場合は防水不良です。
　　お早めに、お買い上げ店・弊社お客様相談窓口にご相談ください。
・水や汗、汚れが付着したままにしておくのは避けてください
　防水時計でもガラスの接着面・パッキンの劣化やステンレスがさびることにより、防水不良になるおそれがあります。
・入浴やサウナの際はご使用を避けてください
　蒸気や石けん、温泉の成分などが防水性能の劣化を早めることがあります。
・その他のご注意
　○金属バンドの調整は専門知識・技能が必要ですので、お買い上げ店にご依頼ください。
　　手や指などをケガする可能性があるほか、部品を紛失する可能性があります。
　※ご警告、ご転居などにより、お買い上げ店での調整が受けられない場合は、弊社お客様相談窓口へご依頼ください。
　　お買い上げ店以外では有料もしくはお取扱いいただけない場合があります。
　○商品の分解・改造はしないでください。
　○乳幼児に時計が触れないようにご注意ください。
　　ケガやアレルギーをひき起こすおそれがあります。
　○使用済み電池の処理は自治体の指示に従ってください。
　○提げ時計やペンダント時計の場合、ひもやチェーンの取り扱いにご注意ください。
　　衣類や手、首などを傷つけたり、首を締めたりするおそれがあります。

●お手入れについて

日ごろからこまめにお手入れしてください
・水分や汗、汚れはこまめに柔らかい布でふき取るように心がけてください。
・海水につけた後は、必ず真水でよく洗ってからふき取ってください。
　その際、直接蛇口から水をかけることは避け、容器に水をためるなどしてから洗ってください。
　※非防水・日常生活防水の場合はおやめください。

●防水性能について

お買い上げいただいた時計の防水性能を裏ぶたでご確認の上ご使用ください。

裏ぶた表示	防水性能	お取り扱い方法
表示なし	非防水	水滴がかかったり、汗を多くかく場合には、使用しないで下さい。
WATER RESISTANT	日常生活用防水	日常生活での「水がかかる」程度の環境であれば使用できます。⚠警告　水泳には使用しないで下さい。
WATER RESISTANT 5 BAR	日常生活用強化防水 5気圧防水	水泳などのスポーツに使用できます。
WATER RESISTANT 10（20）BAR	日常生活用強化防水 10（20）気圧防水	空気ボンベを使用しないスキンダイビングに使用できます。

●バンドについて
バンドは直接肌に触れ、汗やほこりで汚れます。そのため、お手入れが悪いとバンドが早く傷んだり、肌のかぶれ・そで口の汚れなどの原因になります。
長くお使いになるためには、こまめなお手入れが必要です。
金属バンド
・ステンレスバンドも水や汗・汚れをそのままにしておくと、さびやすくなります。
・手入れが悪いと、かぶれやワイシャツのそで口が黄色や金色に汚れる原因になります。
・水や汗・汚れは、早めに柔らかな布でふき取ってください。
・バンドのすき間の汚れは、水で洗い、柔らかな歯ブラシなどで取り除いてください。
　（時計本体は水にぬれないように、台所用ラップなどで保護しておきましょう。）
　残った水分は柔らかな布でふき取ってください。
・チタンバンドでも、ピン類には強度に優れたステンレスが使用されているものが多く、ステンレスからさびが発生することがあります。
・さびが進行すると、ピンの飛び出しや抜けが発生し、時計を脱落させてしまうことがあります。また、逆に中留が外れなくなることがあります。
・万が一、ピンが飛び出している場合は、怪我をするおそれがありますので、ただちに使用をやめて修理をご依頼ください。

皮革バンド
・水や汗、直射日光に弱く、色落ちや劣化の原因になります。
・水がかかったとき や汗をかいた後は、すぐに乾いた布などで、吸い取るように軽くふいてください。
・直接日光にあたる場所には放置しないでください。
・色の薄いバンドは、汚れが目立ちやすいので、ご使用の際はご注意ください。
・時計本体が日常生活用強化防水10（20）気圧防水になっているものでも、アクアフリーバンド以外の皮革バンドは、水泳・水仕事などでのご使用はお控えください。

ポリウレタンバンド
・光で色があせたり、溶剤や蛍光灯の遠気などにより劣化する性質があります。
・特に半透明や白色・淡い色のバンドは、他の色を吸着しやすく、また変色をおこします。
・汚れたら水で洗い、乾いた布でよくふき取ってください。
　（時計本体は水にぬれないように、台所用ラップなどで保護しておきましょう。）
・弾力性がなくなったら取り換えてください。そのまま使い続けるとひび割れが生じバンドが切れやすくなります。

かぶれやアレルギーについて
　バンドによるかぶれは、金属や皮革が原因となるアレルギー反応や、汚れ、もしくはバンドとのすれなどの不快感が原因となる場合など、いろいろな発生原因があります。

バンドサイズのめやすについて
　バンドは多少余裕をもたせ、通気性をよくしてご使用ください。
　時計をつけた状態で、指一本入る程度が適当です。

●点検調整のための分解掃除（オーバーホール）について

・長くご愛用いただくために、3年～４年に1度程度の点検調整のための分解掃除（オーバーホール）をおすすめします。ご使用状況によっては、機械の保油状態が損なわれたり、油の汚れなどによって部品が磨耗し、止まりにいたることがあります。
　またパッキンなどの部品の劣化が進み、汗や水分の浸入などで防水性能が損なわれる場合があります。
　点検調整のための分解掃除（オーバーホール）は、[純正部品]とご指定の上、お買い上げ店にご依頼ください。その際、パッキンやばね棒の交換もあわせてご依頼ください。
・点検調整のための分解掃除（オーバーホール）の際には、ムーブメント交換となる場合もあります。

■アフターサービスについて

●保証と修理について

・修理や点検調整のための分解掃除（オーバーホール）の際は、お買い上げ店、または弊社お客様相談窓口にご依頼ください。
・保証期間内に不具合が生じた場合は、必ず保証書を添えてお買い上げ店へお持ちください。
・保証内容は保証書に記載したとおりです。
　保証書をよくお読みいただき、大切に保管してください。
・保証期間終了後については、修理によって機能が維持できる場合には、ご要望により有料修理させていただきます。

■補修用性能部品について

この時計の補修用性能部品の保有期間は通常7年を基準としています。補修用性能部品とは時計の機能を維持するために必要な修理用部品です。修理の際、外観の異なる代替部品を使用させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。